

HOT LIFE NEWS

清水勝市議会レポート

2015.7.1

【発行】市民フォーラム 市議会報告
〒183-8703 東京都府中市宮西町2-24
HOT LIFE NEWS 清水勝市議会レポート No.5



平成27年度府中市議会6月定例会終了

6月5日(金)～22日(月)の18日間の日程で平成27年度府中市議会第2回定例会(6月議会)が開催されました。議員として初めての定例会でしたが、本会議での一般質問、各種委員会への出席など精力的に取り組みました。

第2回定例会

議案6件、継続審査4件、議員提出議案5件が審議されました。

建設環境委員会

稲城・府中墓苑組合規約の変更について、審議し可決されました。

【内容】稲城・府中墓苑組合の事務所の位置変更(住所の変更)に伴い、同組合の規約の一部が変更されました。

市庁舎建設特別委員会

市庁舎建設について、2015年3月6日に開催された委員会以降の動きの報告があり、協議し了承されました。

- 【内容】
- ①敷地拡張の進捗状況
 - ②市民説明会の開催状況
 - ③設計者選定に関する状況
 - ④執務環境調査等業務の実施結果
 - ⑤今後の対応

地域対策活動

市民の声を反映しています。

◆東芝南門交差点陥没穴改修

道路に穴が空いていて、自転車通行に支障があるという声を受け、市役所の担当部署へ連絡し対応いただいた。



南門陥没穴



南門陥没穴改修後



府中市議会議員 清水 勝 プロフィール

◆1964年/山梨県北巨摩郡(現北杜市)生まれ ◆1983年/山梨県立甲府工業高校卒、(株)東芝府中工場入社、コンピュータ製造・試験・工程管理 ◆1994年～2015年/【労働組合関係】東芝グループ連合・東芝労働組合・連合東京・連合三多摩・電機連合東京役員を歴任、【府中市関係】福祉まつり実行委員・福祉の街づくり審議会委員・次世代育成対策行動計画推進協議会委員・府中市環境審議会委員等を歴任、【ボランティア活動】豪雪地帯の雪国ボランティア、東日本大震災復興支援、東南アジアの子どもたちへボランティア支援等 ◆2015年4月/府中市議会議員 初当選(11位、2959票)、建設環境委員会副委員長/市庁舎建設特別委員会委員/議会報編集委員会委員/府中市交通安全対策審議会委員/三多摩上下水及び道路建設促進協議会第3委員会(道路) ◆府中市宮町1丁目在住

◆お気軽にご相談下さい◆

清水 勝 後援会

〒183-8511 府中市東芝町1番地
東芝労働組合府中支部内
TEL.042-333-6890 FAX.042-340-8177
E-mail:shimizu.masaru.fuchu@gmail.com

■清水勝HP



■Facebook



■清水勝ホームページ

<http://shimizu-masaru-fuchu.jp>

■Facebook

<https://www.facebook.com/shimizu.masaru.fuchu>

今後、後援会の動きや、皆様の声、市政の動きなどをお伝えし、ご理解をいただくために、No.5後援会ニュースから、これからも「市民の皆さまがあなたかな生活を送れるように」の意味をこめて「HOT LIFE NEWS」に改め発行することになりました。

スポーツタウン府中の実現に向けた施設整備について

Q 府中市における今後のトータル的なスポーツ施設整備の考え方について、確認させていただきたい。

A 市長答弁：本市では、他市に先駆け各種スポーツ施設の整備を進め、多くの市民にスポーツに親しむ機会を提供し「スポーツタウン府中」の実現に努めている。

現在、施設の老朽化が進行し、修繕や改修工事等の対応が必要となってきている。

現行の「府中市スポーツ推進計画」では、スポーツ拠点の整備や既存施設の有効活用を推進するとともに他の計画との整合性を図りながら維持可能な施設のあり方を検討するとしており、既存施設の老朽化への対応をはじめ、中核施設の整備・活用など必要に応じ施設や設備の再整備を進めていくこととしている。

今後、本市の財政見通しや公共施設マネジメントにおける取り組み内容を始め、各施設の特性や利用者のニーズ、老朽化の進捗状況等を踏まえ「スポーツタウン府中」をさらに推進するための施設のあり方について検討を進める。



Q 今後の府中市のスポーツタウンに向けた市民陸上競技場、市民球場、総合体育館の整備計画等が具体的な考え方があれば示していただきたい。

A 担当部長答弁：いずれの施設も老朽化が進んでいることから既存施設の改修や設備類の修理、備品類の更新など施設機能の維持を図るための対応を行い運営管理に努めている。

今後の各施設の整備については、現時点では具体

的な整備計画はないが、本市の財政状況及び今後の見通し、現在進行中の大規模投資的事業の動向、公共施設マネジメントの進捗状況なども考慮した上で関係部署との連携を図りながら適切な時期に検討を進める。

Q 推進計画では、郷土の森総合体育館の建て替えの検討があるが、具体的に検討時期の考えがありましたら示していただきたい。

A 担当部長答弁：総合体育館については、老朽化が進んでいることや耐震化の必要性があることなどから建て替えの必要性について認識している。

平成20年度当時建て替え計画を見直した際の諸課題や資金的な問題など、実現に向けては様々な課題が山積していることから現在は施設の延命化を図って

いる。

現時点では建て替えに関して具体的にお示しできないが、引き続き課題解決に向けた検討を進める中で、ある程度の解決の糸口が見えてきた際には、議会にもご相談しながら建て替えの時期や内容等を示したいと考えている。

意見・要望

今後の府中市のスポーツタウンに向けた取り組みとしては、まだまだ検討する課題が多いと感じている。

単に施設建設が目的ではなく、将来的には健常者も障がい者も気軽にスポーツを楽しめる施設があれば、青少年の育成、中高年や高齢者の健康づくり、つまりライフステージに応じたスポーツ活動の促進につながり、生涯スポーツタウン府中と全国から認められるような健康都市になると考えている。

健康都市になれば医療費の抑制にもつながり、その分をまた新たな使い道に充てられる好循環が生まれる

と考えている。

また、生涯スポーツタウンの先駆けである愛知県豊田市やラグビータウンといわれる岩手県釜石市、埼玉県熊谷市のように企業スポーツとの連携をさらに深めることにより、指導者の育成を進めるとともに青少年の育成につなげていくことが必要だと考える。

是非とも、真のスポーツタウン府中、あるいはラグビータウン府中をめざし、将来を見据えて多くの市民が気軽に利用できる施設の整備、充実を継続的に図っていただくようお願いしたい。